

# 臨床美術画家 佐藤雅彦自己紹介

1954 年、岐阜県の 6 人兄弟の次男として生まれる。

小学校の頃から、算数が得意で作文の苦手な少年でした。

1977 年名城大学理工学部数学科卒業。

中学校の数学の教師を経て、IT 企業(東京証券取引所 2 部上場)、大興電子通信(株)にシステムエンジニアとして勤務。

39 歳の時、川口福音自由教会で洗礼を受け、クリスチャンになる。

2005 年 51 歳の時、アルツハイマー型認知症と診断される。

診断後、地獄の生活を送るが、旧約聖書「わたし(神)の目にはあなたは高価で尊い、わたしはあなたを愛している」で立ち直り、認知症の体験を全国で講演、講演回数 100 回以上。

2014 年認知症の全国組織、日本認知症ワーキンググループを立ち上げ共同代表に就任。

2014 年認知症の体験談を綴った『認知症の私が伝えたいこと』を大月書店より出版。この本を元に NHK で 1 時間ドラマとして撮影、放映。

趣味 絵画作成、ピアノ演奏、写真撮影、個展も開き、ピアノ発表会もしまし。画集 2 冊出版。

現在、川口在住 70 歳、介護付き老人ホームで一人暮らしをしている。

ホームページ [www.sato-Masahiko.com](http://www.sato-Masahiko.com) line id sato5701

## 【伝えたいこと】

- 1 認知症になっても不便であるが不幸でない。  
好きなことをして過ごす。
- 2 私たちにはわからないが、神のご計画があるので、どんな試練にも負けない。どんな時にも希望を捨てない。楽しく過ごす。
- 3 失った機能を嘆くのではなく、残された機能に感謝して生きる。
- 4 取り越し苦労はせず、未来は明るいと信じる。自分に自信をもって生きる。毎日生かされていることに感謝して生きる。
- 5 細かいことを気にせず大らかに生きる。